

◀◀◀ ▶▶▶
Lv .53/60



HP 57/100

ATK 57/100

靈基吸奪

英靈吸奪變転獄

源頼光



も……う
や……め
なさい

あうっ……ああん♡♡♡♡!

はあん♡!
いいけない……
このままでは……また……

ふ、不覚
こんな無様を……



過去の逸話、伝説の有無を問わず、英雄が英霊となつた時点で、この魔獣には太刀打ちが出来ない。

曰く、
英霊はその魔獣と闘ってはならない。

過去の逸話、
伝説の有無を問わず、
英雄が英霊となった時点で、
この魔獣には太刀打ちが出来ない。

しかし、
英霊はその魔獣を根源的に許す事が
出来ないという。

んんん♡♡♡♡♡!

だめっ! イっくう♡♡♡♡♡!

イクっ!

んくああああああアアアっ♡♡♡♡♡!

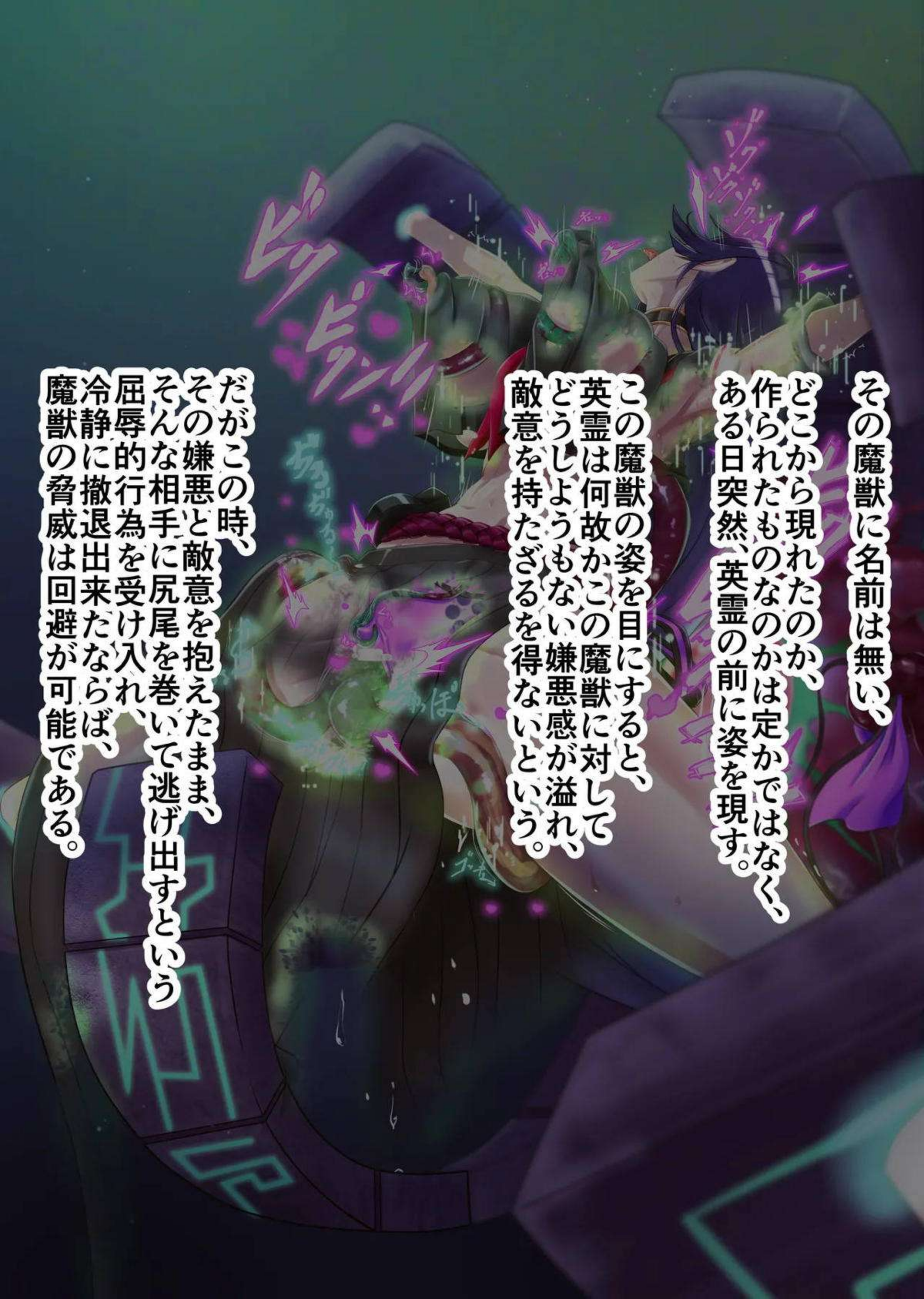


その魔獣に名前は無い、

どこから現れたのか、
作られたものなのかは定かではなく、
ある日突然、英霊の前に姿を現す。

この魔獣の姿を目にすると、
英霊は何故かこの魔獣に対して
どうしようもない嫌悪感が溢れ、
敵意を持たざるを得ないという。

だがこの時、
その嫌悪と敵意を抱えたまま、
そんな相手に尻尾を巻いて逃げ出すという
屈辱的行為を受け入れ、
冷静に撤退出来たならば、
魔獣の脅威は回避が可能である。



◀◀◀
Lv .53/60



HP

ATK

靈基吸奪

んほっ…お♡♡

んひっ♡♡♡

力が…ぬける…
私の力が…吸い取られる…

し…しまった…
い…けない…
また…

◀◀ ▶▶
Lv .53/60

HP

ATK

霊基吸奪

それは単純にその力だけではない、
魔獣がもつとも欲するのは、
英霊が築いてきた
「絆」なのである。

魔獣は英霊の力を奪う、

そしてこの魔獣が何故恐れられているのか？。
それはこの魔獣が英霊の力を奪い糧とする
魔獣だからだ。

しかしもしもこの魔獣に一度
刃を向けてしまったならば、
その時点で英霊はこの魔獣を
撃ち倒す事ができず捕らわれてしまう、
そういう特異な呪いがこの魔獣から発せられて
いるからだ。

◀◀◀
Lv .53/60



HP

ATK

霊基吸奪

んふあ♡♡♡…んう♡

もう やめ…
かきまわさ…ない…
で…♡♡♡

…ます たー？

あれ…なん…で？

力だけでは…ない？…
何かもっと…大事なものが…

ああ…マスター…
すみま…せん…

絆は魂に連なる価値のあるもの、
容易く奪えるものではないが魔獣はこれ等特殊な毒を用いて奪う。

絆を奪われる行為は魂を喰われる事に等しく、
無敵の英雄といえど恐怖を覚えるという。

容易く築けない、
しかし築けたならば何物にも奪えないはずのもの。

しかし時が経っていない新しい絆には綻びがある、

魔獣の毒はその綻びに沁み込み溶かす、

そして一部の昆虫が用いる食事のように
吸い出すと共に奪われる事への背徳的な快楽を
植え付けるのだ。

◀◀◀
Lv .53/60

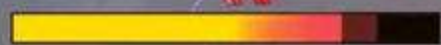
HP

ATK

霊基吸奪

◀◀◀ 《

Lv .41/50



HP 7,887

ATK 5,704

霊基吸奪

イクっ…イかさ…っ♡♡♡♡!!

だめえええ♡♡♡♡!!

いっやあああっ!

やめてえ!

あうっ♡♡♡!?

◀◀◀
Lv .41/50

HP 7,887

ATK 5,704

靈基吸奪

一度この快樂に侵されれば、
引き返す事は出来なくなり、
抗う心も切り崩されて最後には
絶対に奪われたくない絆をその記憶ごと
奪われてしまう。

英霊は
人生を賭して培った力、
そして仲間や家族、
主（マスター）との絆を奪われて尚、

禁断の悦楽に炙られ官能の涙を流し、
身体中の穴という穴から歡喜の蜜を吹き出しながら、
背徳快樂の頂きに打ち上げ続けられるのだ。

◀◀◀
Lv. 37/40



HP 8,001

ATK 4,893

霊基吸奪

はは…は もうらめ…れす…
んほお！ イクっ♡♡♡♡♡！！
ひっくっくっくっく！！

んほうっ♡♡♡♡♡！ おひりい♡♡♡♡♡
ひやめへえ…♡♡♡♡♡！！
ますひやあ… ますひやああ…♡♡♡♡♡



◀◀◀
Lv. 37/48



HP 8,001

ATK 4,593

霊基吸奪

だれか…

たす…

らめ… きえちやう…
ますたあ… たべられへ…

きえちや…
いやあ…

そして大事な絆を喰いつくされた
英霊は魔獣にとつて用途が無く殺されるならば幸運、

しかし何某かの用途を見出されてしまえば
更なる地獄が幕を開ける事になる。

その二つの用途が魔獣の子を
生み出すことである。





その身体を魔獣反映の為の
孕み袋として使われる事が決定した英霊の身体には
魔獣の触手が入り込む。

穴という穴だけでは足らず

触手先端から針を生み出し、
体内にまで入った魔獣は英霊の身体を消滅させないよう、
かつ魔獣の子供を宿すに相応しくなるように
改造する呪いと魔術を注ぎ込む。

それと一緒に
英霊には魔獣を孕む事への喜びと
生まれた幼い魔獣に対する
母としての愛情を植え付けられる。

Lv.100/100

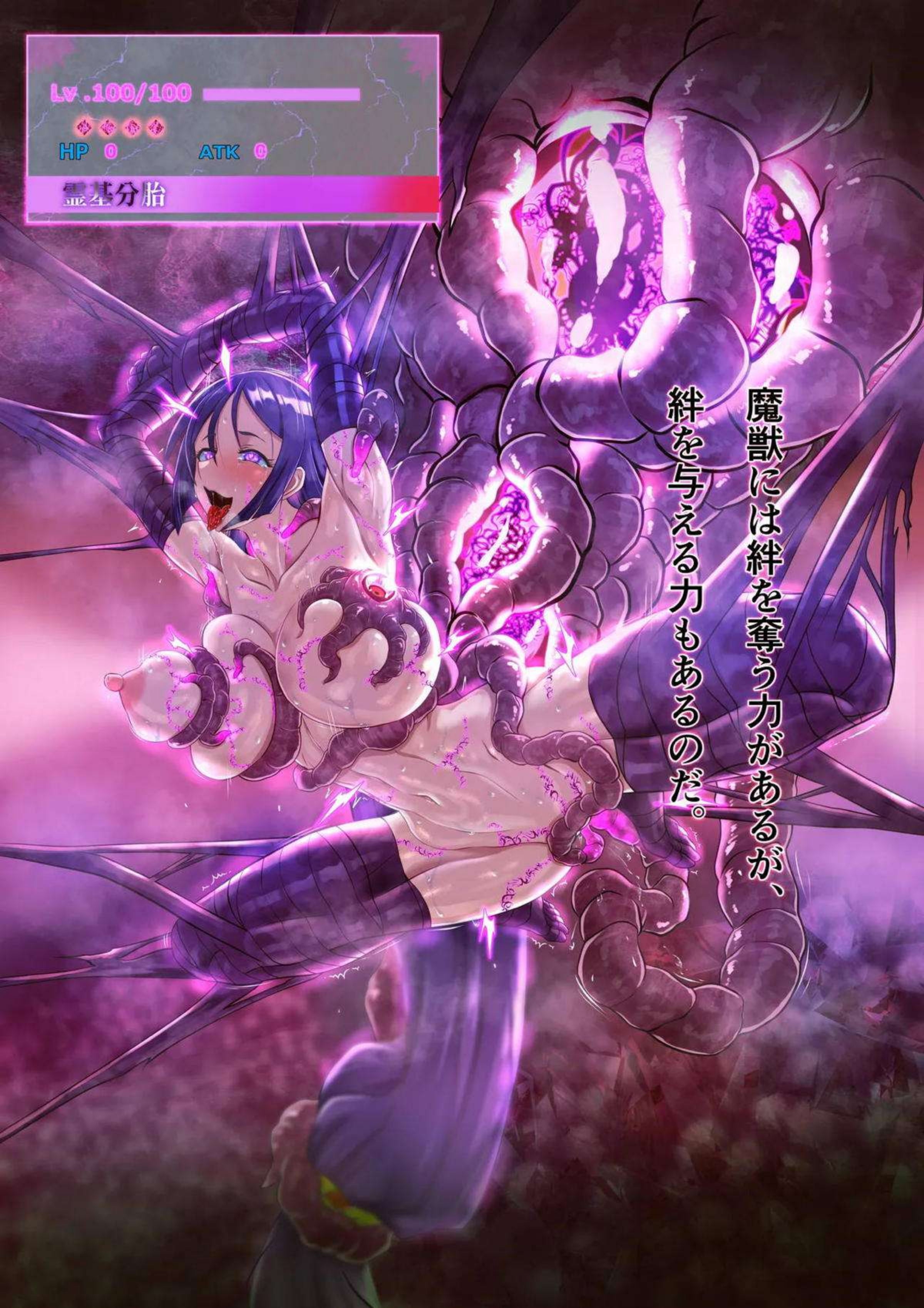


HP 0

ATK 0

霊基分胎

魔獣には絆を奪う力があるが、
絆を与える力もあるのだ。



Lv.100/100



HP 0

ATK 0

靈基分胎

その絆は人の心を理解しない
人外から強制的に与えられる
洗脳に等しい物なのだが、
魂をその最後の一滴まで食い荒らされた
空っぽの器は魔獣から与えられた新たな偽りの絆
をすうりと受け入れ、
その身体に残る英霊としての力を
生まれる魔獣の子供達に与え
生み落とす事になる。

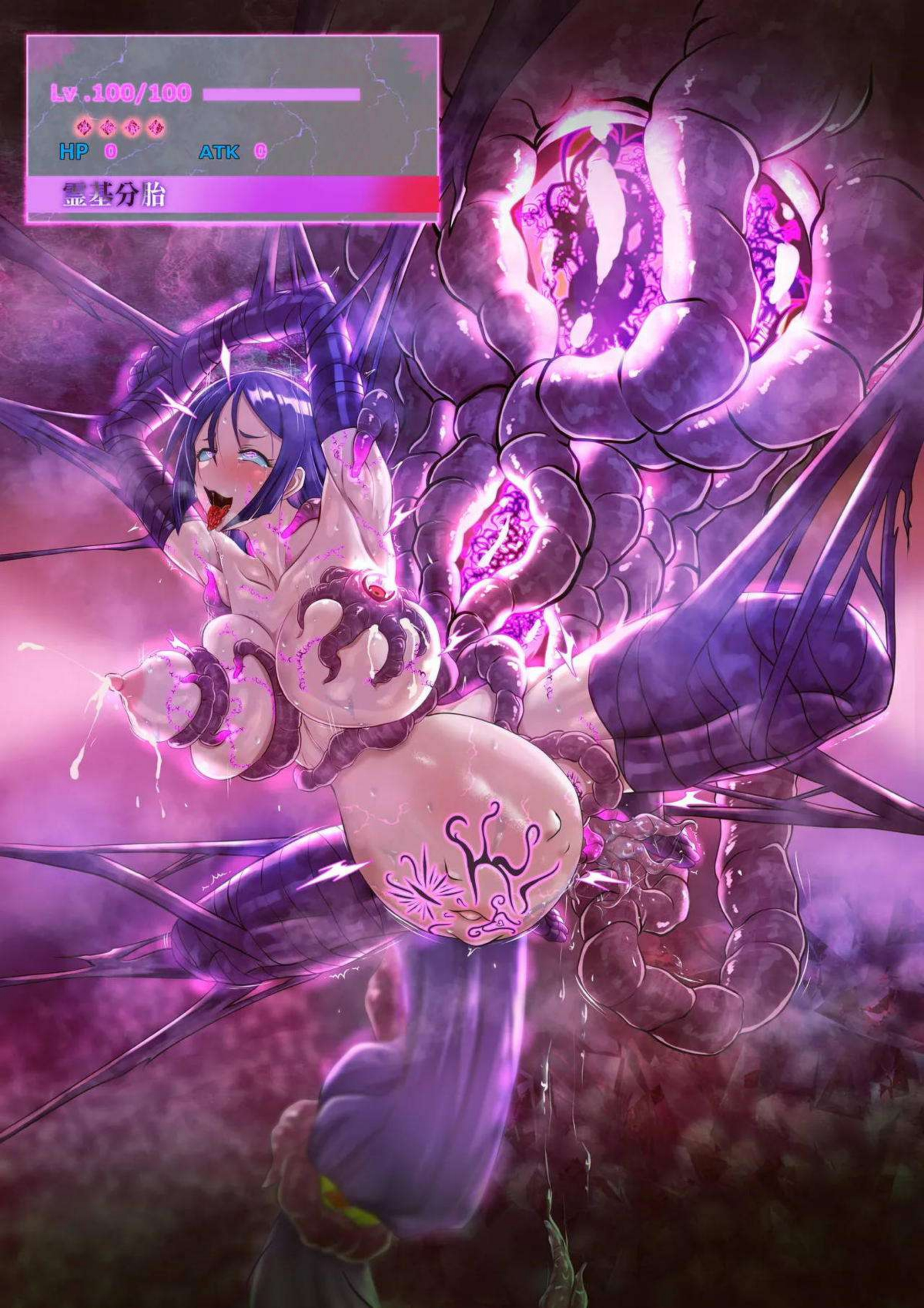
Lv.100/100



HP 0

ATK 0

靈基分胎



Lv.100/100



HP 0

ATK 0

靈基分胎

出産の歡喜に涙しながら、
運の無かった英靈は
消滅する事も死ぬことも出来ず。

身も心も魂も、

全てを汚しつくされながら、

存在の全てを絞りつくされながら、

新たな力を宿した英靈殺しの魔獸を
増やしていくのだった――